

# 助産診断技術学(分娩期)

ナンバリング:N4-S2-L08

|              |                   |        |        |
|--------------|-------------------|--------|--------|
| 責任者・コーディネーター | 成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 |        |        |
| 担当講座・学科(分野)  | 成育看護学講座           |        |        |
| 対象学年         | 4                 | 区分/単位数 | 演習/2単位 |
| 期間           | 前期                |        |        |

## ・学修方針(講義概要等)

分娩期の身体的・心理社会的特性を踏まえ、分娩経過に応じたアセスメントと助産ケアについて理解するとともに、分娩各期に必要な助産ケアの基本を習得する。具体的には、分娩経過(分娩第1期～第4期)に対応したアセスメントと助産ケア、事例や状況設定に基づく助産過程の展開、分娩期一連の分娩助産技術、フリースタイル分娩時の助産技術について学ぶ。

## ・教育成果(アウトカム)

安全で安楽な分娩遂行に向けた助産診断と助産技術の基本を学ぶことにより、分娩開始から経過中の母児の健康状態を把握し、順調な分娩進行に向けた個別性のある助産ケアを考え、実施するための基本的技術を獲得できる。

### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

|   |   |
|---|---|
| 1 | 医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。                             |
| 2 | 生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。                                   |
| 3 | 看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。   |
| 4 | 看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。                 |
| 5 | 患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。                      |
| 8 | コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。 |

## ・到達目標(SBO)

1. 分娩開始時期の母体・胎児の健康状態についてアセスメントできる。
2. 分娩経過中の母体・胎児の健康状態についてアセスメントできる。
3. 安全で順調な分娩進行に向けた助産ケアを立案できる。
4. 安全・安楽に分娩が遂行できるような分娩助産技術が習得できる。
5. 出生直後の新生児の健康状態についてアセスメントできる。
6. あらゆる状況や場所において産婦のニーズ引き出し、出産体験をより良いものにするための助産ケアを習得できる。
7. 専門職として、看護倫理に基づいた行動を行うことができる。
8. 産婦・家族にとって出産の場を共有することが意味深い体験となるよう産婦の意向を汲み、家族関係に配慮しつつ家族が役割をとれるよう場を整えることができる。

## ・授業日程

### 【講義・演習】

会場：マルチ3-A実習室

| 月日<br>曜日<br>時限 | 授業内容/到達目標  | 担当教員   |
|----------------|--|--|
| 4/6<br>月<br>4限 | <p>【授業内容】助産基礎技術①(演習・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本に則った手技と適切な声かけを統合した助産基礎技術を実践できる(レオポルド触診法、ザイツ法、胎児心音聴取、腹囲測定、子宮底長測定など)</li> </ul> <p>【関連するSBO】4, 6, 7, 8</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「助産技術アドバンス」のP14-29を重要点を確認しながら読み、要点を理解する</li> <li>・教科書「助産技術アドバンス」の関連動画を視聴し、自己練習(予習)を行う</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に配布する資料およびチェックリストを活用しながら、演習で得た助産基礎技術について自己練習(復習)を行う(4/17(金)2時限:助産基礎技術試験)</li> </ul> | <p>成育看護学講座<br/>蛸崎 奈津子 教授<br/>西里 真澄 講師<br/>高橋 淳美 講師</p> |

|                 |   |  |
|-----------------|---|--|
| 4/6<br>月<br>5限  | <p>【授業内容】助産基礎技術②(演習・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本に則った手技と適切な声かけを統合した助産基礎技術を実践できる(胎児心拍陣痛図モニター装着、骨盤外計測、内診など)</li> </ul> <p>【関連するSBO】4, 6, 7, 8</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「助産技術アドバンス」のP30-39, 64-70を重要点を確認しながら読み、要点を理解する</li> <li>・教科書「助産技術アドバンス」の関連動画を視聴し、自己練習(予習)を行う</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に配布する資料およびチェックリストを活用しながら、演習で得た助産基礎技術について自己練習(復習)を行う(4/17(金)2時限:助産基礎技術試験)</li> <li>・観察や手技に関する共通の学修項目(チェックリスト)をもとに自己評価(現状評価と課題)する(4/8(水)4限開始時に提出)</li> </ul>  | 成育看護学講座<br>蛸崎 奈津子 教授<br>西里 真澄 講師<br>高橋 淳美 講師 |
| 4/8<br>水<br>4限  | <p>【授業内容】分娩進行状態の観察技術(演習・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本に則った手技と適切な声かけを統合した助産基礎技術を実践できる(側臥位、坐位など体位別の観察技術)</li> </ul> <p>【関連するSBO】1, 2, 6, 7, 8</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「助産技術アドバンス」のP72-97を重要点を確認しながら読み、要点を理解する</li> <li>・自己練習(予習)を行う</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に配布するチェックリストを活用しながら、演習で得た助産基礎技術について自己練習(復習)を行う(4/17(金)2時限:助産基礎技術試験)</li> </ul>  | 成育看護学講座<br>蛸崎 奈津子 教授<br>西里 真澄 講師<br>高橋 淳美 講師 |
| 4/8<br>水<br>5限  | <p>【授業内容】産痛緩和技術(演習・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本に則った手技と適切な声かけを統合した産痛緩和技術を実践できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1, 2, 6, 7, 8</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「助産技術アドバンス」のP72-97を重要点を確認しながら読み、要点を理解する</li> <li>・教科書「助産技術アドバンス」の関連動画を視聴し、自己練習(予習)を行う</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演習で得た助産基礎技術について自己練習(復習)を行う</li> </ul>   | 成育看護学講座<br>蛸崎 奈津子 教授<br>西里 真澄 講師<br>高橋 淳美 講師 |
| 4/10<br>金<br>3限 | <p>【授業内容】時期の診断 分娩開始/入院時期の助産診断(講義・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分娩開始の助産診断にあたり、必要な基礎知識を理解できる</li> <li>・入院時期の助産診断にあたり、必要な基礎知識を理解できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「助産学講座7」の「分娩開始の診断」(p58-59)および事前配布資料の重要点を確認しながら読み、要点を理解する</li> <li>・事前配布課題を行いながら、入院時期の助産診断に関わる妊娠・分娩期の異常について復習する</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「マタニティアセスメントガイド」を活用し、分娩開始の予知と助産診断に必要な基礎知識について要点をまとめる</li> <li>・教科書「マタニティアセスメントガイド」を活用し、入院時期の助産診断に必要な基礎知識について要点をまとめる</li> </ul> | 成育看護学講座<br>蛸崎 奈津子 教授                         |
| 4/10<br>金<br>4限 | <p>【授業内容】受け持ち開始時の初期診断①(講義・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け持ち開始時の初期診断にあたり、母体および胎児の健康状態、心理社会的状態に関する必要な基礎知識を理解できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1, 2, 3, 8</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「助産学講座7」の「胎児の健康状態のアセスメント」(p59-76)および「分娩期の心理社会的変化」(p80-85)の重要点を確認しながら読み、要点を理解する</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「マタニティアセスメントガイド」を活用し、受け持ち開始時の初期診断に必要なアセスメント項目について要点をまとめる</li> </ul>   | 成育看護学講座<br>蛸崎 奈津子 教授                         |
| 4/13<br>月<br>4限 | <p>【授業内容】受け持ち開始時の初期診断②(講義・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け持ち開始時の初期診断にあたり、分娩進行状態に関する必要な基礎知識を理解できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1, 2, 3, 8</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「助産学講座7」の「分娩経過」(p59-76)の重要点を確認しながら読み、要点を理解する</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「マタニティアセスメントガイド」を活用し、受け持ち開始時の初期診断に必要なアセスメント項目について要点をまとめる</li> </ul>   | 成育看護学講座<br>蛸崎 奈津子 教授                         |

|                 |  |  |
|-----------------|--|--|
| 4/13<br>月<br>5限 | <p>【授業内容】受け持ち開始時の初期診断③(講義・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受け持ち開始時の初期診断に必要な基礎知識を用いて、事例の産婦に対する初期診断を立案できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1, 2, 3, 8</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書「助産学講座7」の「分娩期の経過診断」「胎児の健康状態のアセスメント」(p59-76)および「分娩期の心理社会的変化」(p80-85)の重要点を確認しながら読み、要点を理解する</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実習での活用を見据えて、教科書「マタニティアセスメントガイド」を活用し、受け持ち開始時の初期診断に必要なアセスメント項目について要点をまとめる</li> </ul>                                   | 成育看護学講座<br>蛸崎 奈津子 教授                         |
| 4/14<br>火<br>5限 | <p>【授業内容】破水時の対応(演習・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>破水の診断ができる</li> <li>破水時の胎児の健康状態が判断できる</li> <li>破水発生時の助産ケアが実践できる</li> <li>前期破水者の分娩経過に応じた助産ケアを説明できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】2, 3, 6, 7, 8</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書「助産学講座7」の「卵膜の診断」(P74-76)および事前学修資料(破水の観察)の重要点を確認しながら読み、要点を理解する</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業中に配布するチェックリストを活用しながら、演習で得た助産基礎技術について自己練習(復習)を行う</li> <li>前期破水の助産ケアについてノート等に要点をまとめる</li> </ul> | 成育看護学講座<br>蛸崎 奈津子 教授<br>西里 真澄 講師<br>高橋 淳美 講師 |
| 4/17<br>金<br>2限 | <p>【授業内容】助産基礎技術③(助産基礎技術試験)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事例に対して基本に則った手技と適切な声かけを統合した助産基礎技術を実践できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】4</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1～4回の演習内容</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教員からのフィードバックも含め、振り返りを行い、自己の課題を明確にする</li> <li>教科書「助産技術アドバンス」の関連動画を視聴し、自己練習(復習)を行う</li> </ul>  | 成育看護学講座<br>蛸崎 奈津子 教授<br>西里 真澄 講師<br>高橋 淳美 講師 |
| 4/17<br>金<br>4限 | <p>【授業内容】経過の診断 (講義・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産婦の状態に関する情報をもとにバルトグラムを記載できる</li> <li>内診・外診所見等の情報を統合し、分娩進行の診断ができる</li> <li>観察で得た情報とそのアセスメント結果を適切に指導者に報告できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1,2,6</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書「助産学講座7」のP48-79を読み、アセスメントに必要な指標を確認してくる</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実習記録「バルトグラム」を完成させ、期限内に提出する</li> </ul>   | 成育看護学講座<br>高橋 淳美 講師                          |
| 4/17<br>金<br>5限 | <p>【授業内容】分娩介助技術① 分娩室および物品準備 (演習・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な時期に分娩に向けた分娩室および物品準備を行うことができる</li> <li>清潔操作を適切に実践できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】4</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書「助産学講座7」のP88-90を読み、分娩室としての望ましい環境について考える</li> <li>教科書「根拠と事故防止からみた母性看護技術」のP200-207を読み、分娩室および分娩介助に用いる物品について理解する</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>清潔操作の基本について予習する(自己練習を含む)</li> <li>演習で得た判断と技術について自己練習(復習)を行う</li> </ul>                    | 成育看護学講座<br>蛸崎 奈津子 教授<br>西里 真澄 講師<br>高橋 淳美 講師 |
| 4/20<br>月<br>4限 | <p>【授業内容】分娩介助技術② 分娩第1期後半から分娩室入室まで(演習・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内診・外診所見等の情報を統合して、分娩進行の診断ができる</li> <li>適切な時期に分娩室に入室できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】2, 3, 4, 7, 8</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書「助産学講座7」のP88-91(「産婦の準備」まで)を読み、予習する</li> <li>子宮口全開大の兆候および分娩室への移動のタイミングについて調べてくる</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>演習で得た判断と技術について自己練習(復習)を行う</li> </ul>  | 成育看護学講座<br>蛸崎 奈津子 教授<br>西里 真澄 講師<br>高橋 淳美 講師 |

|                          |   |   |
|--------------------------|---|---|
| <p>4/20<br/>月<br/>5限</p> | <p>【授業内容】分娩介助技術③ 分娩室入室から分娩体位まで(演習・グループワーク)<br/>         ・内診・外診所見等の情報を統合して、分娩進行の診断ができる<br/>         ・産婦および介助者自身の分娩に向けた準備を適切に実践できる<br/>         ・適切な時期に分娩準備(分娩体位・分娩野の作成の開始)ができる<br/>         ・間接介助者の協働しながら、適切に分娩体位と分娩野の作成ができる<br/>         【関連するSBO】2, 3, 4, 6, 7, 8<br/>         【事前学修:30分】<br/>         ・教科書「助産学講座7」のP91-95を読み、予習する<br/>         ・eナーストレーナー母性看護技術ビデオライブラリー「滅菌ガウンの装着」「滅菌手袋の装着」視聴<br/>         ・事前配布資料(外陰部消毒および清潔屋の作成)をもとに予習する(自己練習を含む)<br/>         【事後学修:30分】<br/>         ・授業中に配布する「分娩野の作成」に関するチェックリストをもとに復習する<br/>         ・演習で得た判断と技術について自己練習(復習)を行う</p>                 | <p>成育看護学講座<br/>         蛸崎 奈津子 教授<br/>         西里 真澄 講師<br/>         高橋 淳美 講師</p> |
| <p>4/22<br/>水<br/>4限</p> | <p>【授業内容】分娩介助技術④ 分娩体位から排臨・発露・児頭娩出まで(演習・グループワーク)<br/>         ・分娩進行に応じた外陰部消毒および肛門保護が実践できる<br/>         ・適切な時期に会陰保護を開始し、母体の軟産道・会陰の損傷が最小限になる分娩介助を実践できる<br/>         ・産婦への呼吸法の説明と腹圧のコントロールが適切に実践できる<br/>         【関連するSBO】2, 3, 4, 6, 7, 8<br/>         【事前学修:30分】<br/>         ・教科書「助産学講座7」のP96-99を読み、予習する<br/>         ・ポジティブな出産体験のための分娩期ケアを読み、産婦の努責(いきみ)への支援、短息呼吸の誘導について考えてくる<br/>         ・事前配布資料(肛門保護～会陰保護、児頭娩出～臍帯巻絡確認)をもとに予習する(自己練習を含む)<br/>         【事後学修:30分】<br/>         ・授業中に配布する「肛門保護/会陰保護/児頭娩出」に関するチェックリストをもとに復習する<br/>         ・演習で得た判断と技術について自己練習(復習)を行う(6/12(金)3限:分娩介助技術試験)</p> | <p>成育看護学講座<br/>         蛸崎 奈津子 教授<br/>         西里 真澄 講師<br/>         高橋 淳美 講師</p> |
| <p>4/22<br/>水<br/>5限</p> | <p>【授業内容】分娩介助技術⑤ 児頭娩出から胎児娩出まで(演習・グループワーク)<br/>         ・臍帯巻絡の有無を確認し、適切な対応ができる<br/>         ・胎児の肩甲娩出および骨盤誘導線に沿った軀幹娩出が実践できる<br/>         ・産婦の腹圧をコントロールするための助産ケアを実践できる<br/>         ・母体の軟産道・会陰の損傷が最小限となる分娩介助を実践できる<br/>         【関連するSBO】2, 3, 4, 6, 7, 8<br/>         【事前学修:30分】<br/>         ・教科書「助産学講座7」のP99-101を読み、予習する<br/>         ・ポジティブな出産体験のための分娩期ケアを読み、産婦の努責(いきみ)への支援、短息呼吸の誘導について考えてくる<br/>         ・事前配布資料(肩甲娩出～児頭娩出)をもとに予習する(自己練習を含む)<br/>         【事後学修:30分】<br/>         ・授業中に配布する「肩甲娩出/軀幹娩出」に関するチェックリストをもとに復習する<br/>         ・演習で得た判断と技術について自己練習(復習)を行う(6/12(金)3限:分娩介助技術試験)</p> | <p>成育看護学講座<br/>         蛸崎 奈津子 教授<br/>         西里 真澄 講師<br/>         高橋 淳美 講師</p> |
| <p>4/28<br/>火<br/>3限</p> | <p>【授業内容】分娩介助技術⑧ 胎児娩出から胎盤娩出まで(演習)<br/>         ・出生直後の新生児の健康状態を評価できる<br/>         ・適切な時期に安全に臍帯結紮・臍帯切断をすることができる<br/>         ・子宮収縮状態および胎盤剝離徴候を確認後、適切な方法で胎盤娩出ができる<br/>         【関連するSBO】2, 3, 4, 6, 7, 8<br/>         【事前学修:30分】<br/>         ・教科書「助産学講座7」のP101-104を読み、予習する<br/>         ・教科書「助産技術アドバンス」の「胎盤娩出」(P122-128)をもとに予習する<br/>         ・事前配布資料(胎盤娩出/肺呼吸の確立～臍帯切断)をもとに予習する(自己練習を含む)<br/>         【事後学修:30分】<br/>         ・授業中に配布する「胎盤娩出/肺呼吸の確立～臍帯切断」に関するチェックリストをもとに復習する<br/>         ・演習で得た判断と技術について自己練習(復習)を行う(6/12(金)3限:分娩介助技術試験)</p>  | <p>成育看護学講座<br/>         蛸崎 奈津子 教授<br/>         西里 真澄 講師<br/>         高橋 淳美 講師</p> |

|                 |   |  |
|-----------------|---|--|
| 4/28<br>火<br>4限 | <p>【授業内容】分娩介助技術⑥ 胎盤娩出から着帯まで(演習・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分娩後の子宮・軟産道の状態を観察し、診断できる</li> <li>・軟産道の診察介助、外陰部の清拭を実践できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】2, 3, 4, 6, 7, 8</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「助産技術アドバンス」の「軟産道の精査と出血への対応」(P129-131)をもとに予習する</li> <li>・事前配布資料(軟産道損傷の確認)をもとに予習する(自己練習を含む)</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に配布する「軟産道の観察」に関するチェックリストをもとに復習する</li> <li>・演習で得た判断と技術について自己練習(復習)を行う(6/12(金)3限:分娩介助技術試験)</li> </ul>              | 成育看護学講座<br>蛭崎 奈津子 教授<br>西里 真澄 講師<br>高橋 淳美 講師 |
| 4/28<br>火<br>5限 | <p>【授業内容】分娩後1時間値、2時間値(演習・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分娩後1時間値・2時間値を実践できる</li> <li>・分娩後の帰室可否と方法を判断できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】2, 3, 6, 7, 8</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「助産学講座7」の「分娩第4期のケア」(P141-144)をもとに予習する</li> <li>・事前配布資料(分娩後2時間の観察とケア)をもとに予習する(自己練習を含む)</li> <li>・教科書「助産技術アドバンス」のP132-133を読み、予習する</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に配布する「分娩第4期の観察(1時間値)」に関するチェックリストをもとに復習する</li> <li>・演習で得た判断と技術について自己練習(復習)を行う</li> </ul>      | 成育看護学講座<br>蛭崎 奈津子 教授<br>西里 真澄 講師<br>高橋 淳美 講師 |
| 6/12<br>金<br>3限 | <p>【授業内容】分娩介助技術⑦ 分娩体位から着帯まで(分娩介助技術試験)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第15-18回の学習内容をもとに、安全・安楽な分娩介助および助産ケアを実践できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】2, 3, 4, 6, 7, 8</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第15-18回の演習内容</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員からのフィードバックも含め、振り返りを行い、自己の課題を明確にする</li> <li>・教科書「助産技術アドバンス」の関連動画を視聴し、自己練習(復習)を行う</li> </ul>   | 成育看護学講座<br>蛭崎 奈津子 教授<br>西里 真澄 講師<br>高橋 淳美 講師 |
| 6/15<br>月<br>1限 | <p>【授業内容】出生直後の新生児への助産ケア(演習・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出生直後の児の健康状態を評価できる</li> <li>・新生児蘇生法アルゴリズムに沿った処置およびケアを選択・実施するための基礎技術を習得できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】5, 6, 7, 8</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「助産技術アドバンス」の「出生直後の新生児の観察」(P164-179)および「新生児の蘇生法」(P190-199)をもとに予習する</li> <li>・「助産診断技術学(新生児)」で学修したNCPRのアルゴリズムを復習する</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内で配布する「出生直後の前身の観察」に関するチェックリストをもとに復習する</li> <li>・演習で得た判断と技術について自己練習(復習)を行う</li> </ul> | 成育看護学講座<br>西里 真澄 講師                          |
| 6/15<br>月<br>2限 | <p>【授業内容】早期母子接触・早期授乳(演習・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子(親子)相互作用を促しながら児との早期接触を安全に実施するための基礎技術を習得できる</li> <li>・母子(親子)相互作用を促しながら出生後の早期授乳を支援するための基礎技術を習得できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】6, 7, 8</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「助産技術アドバンス」の「早期母子接触・早期授乳」(P180-189)をもとに予習する</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演習で得た判断と技術について自己練習(復習)を行う</li> </ul>  | 成育看護学講座<br>蛭崎 奈津子 教授<br>西里 真澄 講師<br>高橋 淳美 講師 |
| 6/22<br>月<br>1限 | <p>【授業内容】分娩後2時間後の帰室時の保健指導(演習・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分娩後2時間以降に起こり得る異常を予防するための助産ケアが実践できる</li> <li>・産褥早期の出血および感染に対する予防的ケアが実践できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】2, 3, 6, 7, 8</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「助産学講座7」の「分娩第4期のケア」(P141-144)、「退行性変化促進の支援」(P276-279)をもとに予習する</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演習で得た判断と技術について自己練習(復習)を行う</li> </ul>   | 成育看護学講座<br>蛭崎 奈津子 教授<br>西里 真澄 講師<br>高橋 淳美 講師 |

|                          |   |   |
|--------------------------|---|---|
| <p>6/22<br/>月<br/>2限</p> | <p>【授業内容】分娩後の初回歩行(演習・グループワーク)<br/>         ・分娩後の初回歩行の可否を判断できる<br/>         ・安全な初回歩行を実践できる<br/>         【関連するSBO】2, 6, 7, 8<br/>         【事前学修:30分】<br/>         ・初回歩行時に起こり得るリスクを列挙する<br/>         ・安全な初回歩行のために必要な助産ケアを列挙する<br/>         【事後学修:30分】<br/>         ・演習で得た判断と技術について自己練習(復習)を行う</p>  | <p>成育看護学講座<br/>         蛸崎 奈津子 教授<br/>         西里 真澄 講師<br/>         高橋 淳美 講師</p> |
| <p>6/29<br/>月<br/>1限</p> | <p>【授業内容】さまざまな分娩体位と介助技術①(演習・グループワーク/指導補助者)<br/>         ・産婦と胎児の状況、産婦の意向を考慮した分娩体位で分娩介助を行うために必要な基礎知識を習得する<br/>         ・さまざまな分娩体位での分娩介助(側臥位分娩、四つんばい分娩、坐位分娩)を実践できる<br/>         【関連するSBO】2, 3, 4, 6, 7, 8<br/>         【事前学修:30分】<br/>         ・教科書「助産学講座7」のP104-107を読み、予習する<br/>         ・教科書「助産技術アドバンス」の「分娩体位別の介助法」(P98-117)をもとに予習する<br/>         ・分娩進行中の児頭回旋(矢状縫合の向き、先進部の位置)を再確認する<br/>         【事後学修:30分】<br/>         ・演習で得た判断と技術について自己練習(復習)を行う</p>                                | <p>成育看護学講座<br/>         蛸崎 奈津子 教授<br/>         西里 真澄 講師<br/>         高橋 淳美 講師</p> |
| <p>6/29<br/>月<br/>2限</p> | <p>【授業内容】さまざまな分娩体位と介助技術②(演習・グループワーク/指導補助者)<br/>         ・産婦と胎児の状況、産婦の意向を考慮した分娩体位で分娩介助を行うために必要な基礎知識を習得する<br/>         ・さまざまな分娩体位での分娩介助(側臥位分娩、四つんばい分娩、坐位分娩)を実践できる<br/>         【関連するSBO】2, 3, 4, 6, 7, 8<br/>         【事前学修:30分】<br/>         ・教科書「助産学講座7」のP104-107を読み、予習する<br/>         ・教科書「助産技術アドバンス」の「分娩体位別の介助法」(P98-117)をもとに予習する<br/>         ・分娩進行中の児頭回旋(矢状縫合の向き、先進部の位置)を再確認する<br/>         【事後学修:30分】<br/>         ・演習で得た判断と技術について自己練習(復習)を行う</p>                                | <p>成育看護学講座<br/>         蛸崎 奈津子 教授<br/>         西里 真澄 講師<br/>         高橋 淳美 講師</p> |
| <p>7/2<br/>木<br/>3限</p>  | <p>【授業内容】シミュレーション① 吸引分娩(演習・グループワーク)<br/>         ・安全な吸引分娩の遂行に必要な基礎知識をりかいでできる<br/>         ・安全な吸引分娩のための助産ケアを実践できる<br/>         【関連するSBO】2, 4, 6, 7, 8<br/>         【事前学修:30分】<br/>         ・教科書「助産学講座7」のP189-194を読み、予習する<br/>         ・教科書「助産技術アドバンス」の「急速遂娩の介助」(P118-121)をもとに予習する<br/>         【事後学修:30分】<br/>         ・演習で得た判断と技術について自己練習(復習)を行う</p>  | <p>成育看護学講座<br/>         蛸崎 奈津子 教授<br/>         西里 真澄 講師<br/>         高橋 淳美 講師</p> |
| <p>7/2<br/>木<br/>4限</p>  | <p>【授業内容】シミュレーション② 臍帯巻絡/肩甲難産/出産体験の振り返り<br/>         (演習・グループワーク)<br/>         ・臍帯巻絡解除技術の基本を理解し、安全に実践できる<br/>         ・肩甲難産が予測された場合の基本助産技術を理解し、実践できる<br/>         ・母親意識の形成・発達を促すための出産体験の振り返りが実践できる<br/>         【関連するSBO】2, 4, 6, 7, 8<br/>         【事前学修:90分】<br/>         ・教科書「根拠と事故防止からみた母性看護技術」の「臍帯巻絡介助の手技」(P221-222)をもとに予習する(関連動画視聴を含む)<br/>         ・教科書「助産学講座7」の「肩甲娩出」(P99-100)および「出産体験の振り返り」(P284)をもとに予習する<br/>         【事後学修:30分】<br/>         ・演習で得た判断と技術について自己練習(復習)を行う</p> | <p>成育看護学講座<br/>         蛸崎 奈津子 教授<br/>         西里 真澄 講師<br/>         高橋 淳美 講師</p> |

|                |  |   |
|----------------|--|---|
| 7/3<br>金<br>3限 | <p>【授業内容】人工破膜/胎盤計測/導尿(演習・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人工破膜技術の基本を理解し、安全に実践できる</li> <li>胎盤計測を適切に実施できる</li> <li>分娩時の導尿技術の基本を理解し、安全・安楽に実施できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】2, 4, 6, 7, 8</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書「根拠と事故防止からみた母性看護技術」の「人工破膜を行う」(P217-218)をもとに予習する</li> <li>教科書「助産技術アドバンス」の「胎盤娩出後の観察」(P127-128)を読み、予習する</li> <li>事前学修資料(胎児附属物の観察と計測/分娩期の導尿)をもとに自己練習(予習)を行う</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>演習で得た判断と技術について自己練習(復習)を行う</li> </ul>              | <p>成育看護学講座<br/>       蛸崎 奈津子 教授<br/>       西里 真澄 講師<br/>       高橋 淳美 講師</p> |
| 7/3<br>金<br>4限 | <p>【授業内容】シミュレーション③ 受け持ち開始時の初期診断/報告(演習・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受け持ち開始時の初期診断に必要な基礎知識を用いて、事例の産婦に対する初期計画を立案できる</li> <li>立案した初期計画について適切に報告できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1, 2, 3, 8</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第6-7回の授業内容をもとに予習する</li> <li>教科書「助産学講座7」の「分娩期の経過診断」「胎児の健康状態のアセスメント」(p59-76)および「分娩期の心理社会的変化」(p80-85)の重要点を確認しながら読み、要点を理解する</li> </ul> <p>【事後学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実習での活用を見据えて、教科書「マタニティアセスメントガイド」を活用し、受け持ち開始時の初期診断に必要なアセスメント項目について要点をまとめる</li> </ul> | <p>成育看護学講座<br/>       蛸崎 奈津子 教授<br/>       西里 真澄 講師<br/>       高橋 淳美 講師</p> |

・教科書・参考書等

教:教科書 参:参考書 推:推薦図書

|   | 書籍名   | 著者名                         | 発行所                 | 発行年  |
|---|---|-----------------------------|---------------------|------|
| 教 | 助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1] 妊娠期 第6版   | 我部山キヨ子 編                    | 医学書院                | 2021 |
| 教 | 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2] 分娩期・産褥期 第7版   | 我部山キヨ子 編                    | 医学書院                | 2026 |
| 教 | 助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3] 新生児期・乳幼児期 第6版   | 石井邦子 編 他                    | 医学書院                | 2021 |
| 教 | 根拠と事故防止からみた母性看護技術 第4版   | 石村由利子 編                     | 医学書院                | 2026 |
| 教 | 写真でわかる助産技術アドバンス 新訂第2版   | 中根直子 監 他                    | インターメディカ            | 2025 |
| 教 | マタニティアセスメントガイド 新訂第5版  | 吉沢豊予子 編 他                   | メディカルサイエンスインターナショナル | 2023 |
| 教 | マタニティ診断ガイドブック 第7版   | 日本助産診断実践学会                  | 医学書院                | 2025 |
| 教 | 助産業務ガイドライン 2024   | 日本助産師会助産業務ガイドライン改訂検討特別委員会 編 | 日本助産師会出版            | 2025 |
| 参 | 産婦人科診療ガイドライン—産科編2023 (PDF版)<br>https://www.jsog.or.jp/activity/pdf/gl_sanka_2023.pdf  | 日本産婦人科学会 日本産婦人科医会           | 日本産婦人科学会            | 2023 |
| 参 | エビデンスに基づく助産ガイドライン—妊娠期・分娩期・産褥期2024<br>https://www.jyosan.jp/uploads/files/journal/JAMguigueline_2021_citizens_QA/jam_guideline2024.pdf | 日本助産学会                      | 日本助産学会              | 2024 |
| 参 | 乳腺炎ケアガイドライン2020 (PDF版)<br>https://www.midwife.or.jp/user/media/midwife/page/guideline-tab01/nyusen_guideline_2020_2.pdf               | 日本助産師会/日本助産学会               | 日本助産師会出版            | 2020 |
| 参 | WHO推奨 ポジティブな出産体験のための分娩期ケア   | WHO/分娩期ケアガイドライン翻訳チーム        | 医学書院                | 2021 |

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験40%、実技試験60%にて評価する。なお、実技試験は授業内で配布する評価表に沿って評価する。

【形成的評価】助産技術においては、授業内で習得状況ならびに理解度を確認し、フィードバックを行う。

| DP    | SBO | 小テスト | 定期試験 | 課題 | GW | 実技 | その他 | 合計  |
|-------|-----|------|------|----|----|----|-----|-----|
| 1~5,8 | 1~8 |      | 40   |    |    | 60 |     | 100 |
| 合計    |     | 0    | 40   | 0  | 0  | 60 | 0   | 100 |

〈備考〉

・特記事項・その他

|   |
|---|
| <p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性性器の構造、分娩機序や産道（骨産道、軟産道）、胎児（新生児）および付属物の名称や解剖生理に関する知識が定着していることを前提に演習を進行する</li> <li>・助産技術においては、デブリーフィングにて教員から適宜コメントを伝え、学生にフィードバックする</li> <li>・客観的なデブリーフィングを行うために、演習をデジタルビデオカメラまたはWebカメラを用いて録画し、録画したものをもとにグループごとにデブリーフィングを行うこともある</li> </ul> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】</p> <p>助産師(別表2):助産診断・技術学</p> <p>【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】</p> <p>当該科目に関連する実務経験の有無 有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療施設などにおける助産師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う</li> <li>・分娩取扱施設におけるフリースタイル分娩の実務経験を有する助産師が、フリースタイル分娩に関する実践的な教育を行う</li> </ul> |
|---|

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分  | 機器・器具の名称             | 台数 | 使用目的           |
|-------|----------------------|----|----------------|
| 講義・演習 | プロジェクター(VPL-FWZ60)   | 1  | 講義・演習用スライド投影   |
| 講義・演習 | モバイルスクリーン            | 1  | 講義・演習用スライド投影   |
| 講義・演習 | 書画カメラ(P-100)         | 1  | 講義・演習用資料投影     |
| 演習    | デジタルビデオカメラ           | 1  | 演習の録画、デブリーフィング |
| 演習    | Webカメラ               | 1  | 演習の録画、デブリーフィング |
| 演習    | 分娩台マミージョイ LDR        | 2  | 分娩介助技術         |
| 演習    | インファントウォーマー          | 1  | 分娩介助技術         |
| 演習    | 分娩監視装置               | 4  | 分娩介助技術         |
| 演習    | 胎児ドップラ エリート200       | 2  | 分娩介助技術         |
| 演習    | デジタル血圧計(専用スタンド付)     | 1  | 分娩介助技術         |
| 演習    | スタンドライト 小型LED照明灯     | 1  | 分娩介助技術         |
| 演習    | 分娩介助モデルセット(分娩用外陰部Ⅱ型) | 4  | 分娩介助技術         |
| 演習    | サカモト分娩介助トレーナーDual    | 1  | 分娩介助技術         |
| 演習    | チャーリー産科シミュレーショントレーナー | 1  | 分娩介助技術         |
| 演習    | 産褥子宮触診モデル            | 4  | 分娩介助技術         |
| 演習    | デジタルベビースケール          | 1  | 分娩介助技術         |
| 演習    | 女性導尿シミュレーター          | 2  | 分娩介助技術         |
| 演習    | 吸引娩出器                | 1  | 分娩介助技術         |
| 演習    | 骨盤模型                 | 2  | 分娩介助技術         |
| 演習    | 胎盤模型                 | 4  | 分娩介助技術         |
| 演習    | 診察台                  | 1  | 分娩介助技術         |
| 演習    | 児頭計測器                | 2  | 分娩介助技術         |
| 演習    | 子宮診察シミュレーター          | 1  | 分娩介助技術         |
| 演習    | 多目的実習用新生児モデル コーケンベビー | 10 | 産褥期の助産ケア       |
| 演習    | 乳房マッサージモデルⅡ型         | 1  | 産褥期の助産ケア       |
| 演習    | 母乳育児体験セット            | 2  | 産褥期の助産ケア       |
| 演習    | 授乳指導人形 たあくん          | 2  | 産褥期の助産ケア       |